

2024年 7月 12日
プレスリリース No.010-24

国際交流センター開設記念コンサート インドネシア・ガムランと中国・獅子舞の共演

静岡文化芸術大学は、多文化を理解し、積極的に関わることができるグローバルな視野と地域の視点を併せ持った人材育成のため、2024年4月に「国際交流センター」を開設しました。同センターでは、留学を希望する学生を対象とした留学支援や、海外交流協定校との国際交流、学生の語学力向上と多文化共生に関する学生活動への支援をおこなっていきます。この度、同センターの開設を記念し、本学日本人学生と留学生の共演によるガムラン音楽(インドネシア)と獅子舞(中国)のコンサートを開催します。

■インドネシア・ガムラン音楽

「ガムラン」とはインドネシア各地の様々な打楽器合奏の総称で、様々な種類があります。島民の信仰するバリ＝ヒンズー教の寺院の祭礼や冠婚葬祭などに際し、舞踊の伴奏音楽として盛んに演奏されています。本学では、ガムラン演奏者としても活動する梅田英春教授(芸術文化学科)が、授業の一環としてガムラン演奏を指導しています。コンサートでは、授業の成果として学生がガムラン演奏を披露するとともに、インドネシア・バリに留学しバリ舞踊を習得した大学院生と共演します。

■中国・獅子舞

日本でもおなじみの獅子舞は、7世紀に中国から「伎楽(ぎがく)」と共に伝来し、“舞場の邪気を祓う舞”として演目の最初に演じられたとされています。獅子は吉祥のシンボルとして登場する想像上の動物で、獅子舞は五穀豊穡を願う、農民の間で生まれ、伝えられ広められました。国内では、中華街などの年中行事として欠かすことのできない風物になっています。

今回、本学の海外交流協定校のひとつ浙大城市学院(浙江省杭州市)より、友好の贈り物として中国獅子舞のための獅子が贈られました。いただいた獅子は黄色で、「仁徳と高貴」を意味しています。コンサートでは、現在本学に交換留学中の中国人留学生の協力のもと、日本人学生と留学生が共に獅子舞を披露します。



イメージ(中国獅子舞)

■実施概要

【日時】 2024年 7月 22日(月) 18:15~19:00
【場所】 静岡文化芸術大学 文化・芸術研究センター ホール
【出演者】 静岡文化芸術大学 学生 21名、留学生 4名(予定)
【主催】静岡文化芸術大学 国際交流センター



<本リリースに関する問い合わせ>

静岡文化芸術大学 教務・学生室 学生支援係(国際交流センター)
Tel. 053-457-6121 / Fax. 053-457-6123
Email. gakusei@suac.ac.jp

公式 Web サイト

